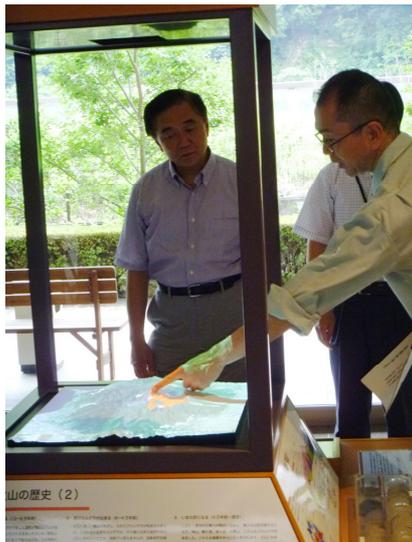


箱根ジオパーク構想の中核となる大涌谷等の西湘地域 現場訪問について

7月1日（金）の第1回「黒岩祐治が行く！神奈川の現場」では、箱根ジオパーク構想の中核ジオサイトである大涌谷などの視察を中心に、西湘地域管内を訪問し、箱根町長、湯河原町長をはじめ、関連団体の皆さんなどと意見交換を行いました。

大涌谷（箱根町仙石原）

箱根町長、県公園協会理事長等と大涌谷園地再整備について意見交換を行った後、多くの観光客でにぎわう自然研究路を視察しました。



温泉地学研究所（小田原市入生田）

研究所を視察し、研究員から箱根火山や地震活動に関する研究や調査活動について説明を受けました。

生命の星・地球博物館（小田原市入生田）

博物館学芸員、温泉地学研究所研究員等の若手職員とのランチミーティングを開き、意見交換を行いました。



万葉公園（湯河原町宮上）

公園内の足湯施設「独歩の湯」で足湯を体験するとともに、湯河原町長、湯河原温泉観光協会、湯河原温泉おかみの会会員らと観光産業の現状と課題について意見交換を行いました。

真鶴町立遠藤貝類博物館（真鶴町真鶴）

国内有数の貝類コレクションを誇る博物館を視察し、展示品や真鶴半島の自然等について、館長から説明を受けました。



(株)露木木工所（小田原市早川）

国指定の伝統工芸品である箱根寄木細工を展示・販売している寄木ギャラリーを視察し、(社)箱根物産連合会の会員や若手職人グループ「雑木囃子」と寄木細工の普及と産業振興について意見交換しました。